

## 資料 2-1

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議  
(第4回)

2023年9月28日(木) 10:00-12:00

# 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」 で示された「国における推進方策」の取組状況

# 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」で示された 国における推進方策について

## 第5章 国における推進方策

本章では、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるため、国において推進すべき方策について提言する。

- (1) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示
- ★(2) 教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例収集・分析
- ★(3) 学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実
- (4) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実
- (5) 学校施設整備指針の改訂
- ★(6) 普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

★関連するもの

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告 p. 39より

→国における推進方策の取組状況について、第3回会議（3/14）（資料3-1）以降の進捗状況。

# 検討課題の調査研究や情報収集・整理分析等の実施について

## 取組状況

新たな時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策を一体的に推進していくためには、長寿命化改修の可能性を広げていくことが重要である。

このため、構造・法令上の課題を中心に、どのような障壁を取り除く必要があるかについてや、国庫補助単価に関する標準仕様の見直しについて、調査研究などを実施しているところ。

### ①既存学校施設改修等の技術的課題検討会

(事務局 施設企画課)

#### <目的>

長寿命化改修等を通じた教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を進めるに際して、構造体の見極めが困難、法的制約への対応方法が不明、改修のノウハウや整備内容の情報が不足などの技術的な課題がある。これらの課題を解決して、設置者における一体的な整備の推進を後押しする。

#### <検討事項>

技術面でのボトルネックを把握・分析し、解決策の検討等を進め、分かりやすく解説する資料を作成、公表する。

### ②工事費算定に伴う作図等に関する調査業務（委託事業）

(委託先 (株) 綜企画設計)

#### <目的>

公立学校施設の国庫補助単価を抜本的に見直すため、昨年度、日本建築学会に委託した標準仕様の検討結果を基に、実施設計と工事費の積算を行う。

#### <検討事項>

標準仕様の公立学校施設を国の技術的基準等も踏まえ設計し、工事費の積算を行う。

# 学校施設の教育環境向上を図る改修等に関する課題解決事例集 ～既存学校施設を活用したこれからの学びの環境づくり～

構造体の改修範囲の見極めが困難

法的制約への対応が不明

改修のノウハウ不足



新しい時代の学びに対応した空間を改修等で実現する際に、ボトルネックとなる課題への対応策を分かりやすく解説しています

## ■教育環境向上の手法



柏市立土小学校（千葉県柏市）

学習指導要領に対応した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、老朽化した施設の教育環境の向上と老朽化対策を一体的に進めるため、市の改修モデルとなるように学校関係者の対話を重ね、整備が行われた。

新しい学びのスタイル

全面改修

防災

防犯

3面ホワイトボード

隣教室との開口部

## ■構造体の改修範囲の見極め



個別具体的な課題対応（構造上）

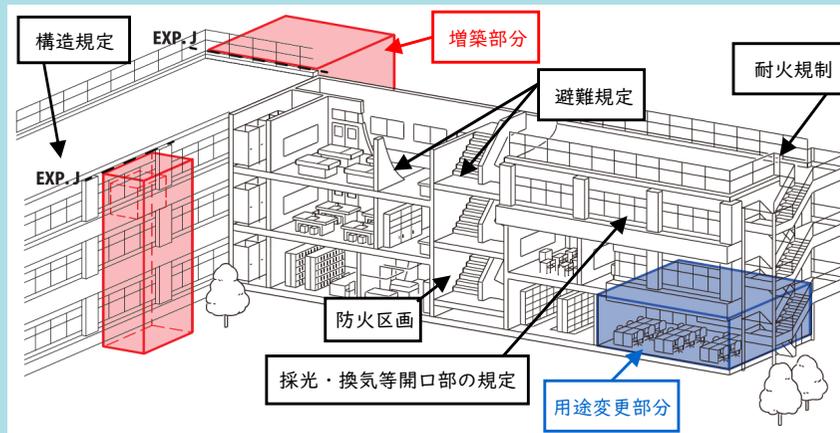
教室間にある耐力壁を撤去し、多様な活動を行うことのできる広いスペースを確保した事例を紹介している。

耐力壁撤去

耐震診断

耐震補強

## ■法的制約や法解釈



資料提供：「建築知識2022年7月号」（株式会社エクスナレッジ）（イラスト：志田華織）

既存不適格への対応

学校施設の長寿命化改修に取り組む際に、既存不適格への対応の参考として、増築等を行う際の既存の建築物に対する制限の緩和、用途変更の場合の既存遡及について整理している。

## ■お問合せ先

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部  
施設企画課指導第二係  
TEL：03-5253-4111（内線：2292）



URL：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/seibi/1372577\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/seibi/1372577_00003.htm)

# CO-SHA Platform ～学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム～

## 取組状況

未来の学校施設づくりを支援するプラットフォーム「CO-SHA Platform（コーシャプラットフォーム）」を令和4年11月に開設。主に小中学校の学校施設の整備や活用を進めるためのオンライン/オフラインでの共創・共有の場として、①新たな学校施設づくりのアイデア集の充実、②現地派遣も含めたアドバイザーへの相談窓口の運営、③イベント＆コミュニティづくりで、学校設置者に限らず、同じ目標や悩みをもつ方々のネットワークの形成を実施している。

### CO-SHA Platform ～ co-creation(共創), sharing ideas(共有) ～

#### I 新たな学校施設づくりのアイデア集

学校施設の整備・活用事例を  
使いやすいコンテンツとして掲載します。



国立特別支援学校と市立小学校の併設による円滑な交流及び共同学習の場の創出  
群馬県立東山小学校  
群馬県立東山小学校  
群馬県立東山小学校  
群馬県立東山小学校

「対話型設計」「柔軟な学習空間」「長寿命化改修」「地域との連携」等、学校づくりのための効果的な取組事例として13事例を掲載（令和5年9月時点）

#### II アドバイザーへの相談窓口

学校建築アドバイザーによる助言や派遣を行う相談窓口を設置します



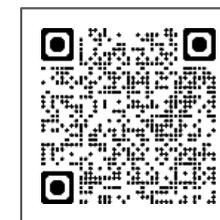
学校づくりに関する個別の相談に対して、アドバイザーからの助言や現地への派遣を実施  
令和4年度：6件  
令和5年度：7件（9月時点）

#### III イベント＆コミュニティづくり

ワークショップの開催やプロジェクトチームの募集・活動支援を行います



「地域や社会との共創を生み出す学校建築」等をテーマとして、オンラインイベントやワークショップを開催  
令和4年度：3件  
令和5年度：1件（9月時点）



QRコード